

地域・離島歯科医療実習 レポート

学籍番号：4318100075

氏名：石川 琴美

実習先： 口之島

実習期間：令和 5年 7月 28日 ~ 7月 30日

1. 自然環境

口之島は、吐噶喇列島に属する火山島である。面積は13.25平方キロメートル、最高標高は628.3メートル。島の周囲は20.38キロメートルである。吐噶喇列島で最も北に位置する有人島であり、吐噶喇列島の玄関口となっている。

自然…ガジュマルやアコウがジャングルのようにおいしげる亜熱帯植物の島として特徴がある。

気候…1年を通して温暖な気候

2. 社会的背景

人口は103人、世帯数は72世帯（2020年10月1日現在）。

人口構成 75歳以上が20名以上で高齢化が進んでいる。

島内に小中学校はあり、島外から山海留学生を受け入れることで学校機能（義務教育）を維持している。この機能を維持することは、生産年齢人口（子育て世代）を維持・増加させる上で最低限必要である。農業に従事している人が最も多い。

3. 住民の生活

島には民宿が4つあり、郵便局1つ、売店ひとつ、給油するガソリンスタンド1つ、自販機2つ、温泉1つがあった。お金を使うところはそのくらいしかなかった。

食生活は本土と変わらないように感じた。

霜月祭りは、旧暦11月に行われる祭りで、島内のお宮に新米で作った酒やサトイモを供え、家族の健康と農業の豊作を祈るまつりで、トカラ列島でも由緒ある大祭の一つである。

4. 医療供給体制

病院がなく、島に村立の「へき地診療所」があり、1名ずつ看護師が常勤している。また常駐医師が鹿児島赤十字病院から3ヶ月交代で長期派遣され、中之島を拠点に上4島の巡回診療をしている。その他、鹿児島こども病院による小児診療や鹿児島大学による眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科など特定診療科の診療も行われています。2020年度特定健診受診率が十島村は一位になった。島では「健診は受けて当たり前」になっており、そうした島民の意識を象徴するものにレントゲン便がある。レントゲン便は年に1度の特別便。各島で2時間程度停泊しながら、船内では島民の健康診断が実施され、乗客は停泊中の一時下船が認められている。

実習概要

日 付	内 容
7/28	鹿児島⇄口之島 23:00~5:00
7/29	7:30~9:00 準備 9:00~12:00 14:00~17:00 診療 17:00~片付け 19時ごろ フェリーとしま2 折り返し便に乗船 口之島⇄鹿児島 19:00~25:00

振り返り記録

高齢者の受診が最も多く主に義歯の調整を行った。午前中に受診された方が午後にお礼に野菜を持ってこられたのを見て、患者さんの感謝の気持ちを鹿児島本土にいる時よりも受け取りやすいのではないかと感じた。歯科治療に必要な物が大学病院とは異なる簡易的なものが多いので、やりづらさは確かにあるように感じましたが、先生の方々と協力することでなんとか診療が終わりました。あまり役には立ちませんでした。研修医の先生が実際にスクレーリングなど治療を任せられているのを見て、私も来年はさせていただくことになるかもしれないと感じた。またお子さんを就学前検診に連れてこられたり、3歳児歯科検診に連れてこられたり、島の方はこのような離島診療の機会を逃したらわざわざ本土に来ないといけないと考えたら、やはり不便なところが多いと感じた。

